

報道各位

新潟市美術館

開館 40 周年記念
長坂コレクション はじめましての西洋絵画
開場式・内覧会の開催について

当館では、「開館 40 周年記念 長坂コレクション はじめましての西洋絵画」を開催します。

本展では、長野市在住の所蔵家・長坂剛氏が長年にわたり蒐集してきた「伝統的な絵画手法によって描かれた正統派のヨーロッパ絵画」から、17 世紀のバロック美術と 19 世紀の近代絵画を中心に 58 点の油彩画を紹介します。

つきましては、下記のとおり開場式を行いますので、取材・広報にご協力くださいますようお願いいたします。

◆ 開場式・内覧会

日 時：10月31日（金）午後3時より午後4時30分まで

次 第：主催者・関係者あいさつ（開場式終了後、展覧会をご覧くださいます）

◆ 展覧会

会 期：11月 1日（土）から 2026 年 1 月 12 日（月・祝）まで

休 館 日：月曜日 [11/3・24・2026. 1/12 は開館]、年末年始 [12/28～1/3]

開館時間：午前9時30分～午後5時

観 覧 料：一般 1,200 円（1,000 円）大学生・高校生 900 円（700 円）

中学生以下無料

※（ ）内は前売・団体料金（20 名以上）・リピーター割引料金（本展
観覧券の半券提示で2回目は団体料金に割引）

主 催：新潟市美術館・新潟日报社

担当・お問合せ先

新潟市美術館 大野・塚野

TEL 025-223-1622 FAX 025-228-3051

MAIL museum@city.niigata.lg.jp

名画につつまれる贅沢

開館40周年記念 長坂コレクション

西洋絵画

はじめましての

2025 11.1^土 - 2026 1.12^{月祝}

- ◆休館日／月曜日(ただし11月3日、24日、2026年1月12日は開館)、年末年始(12月28日～1月3日)
- ◆開館時間／午前9時30分～午後5時 ※ 観覧券の販売は午後4時30分まで
- ◆主催／新潟市美術館、新潟日报社
- ◆協力／長坂パロック株式会社
- ◆前売券／1,000円(一般のみ) 販売期間:2025年5月24日～10月31日
[販売場所]セブンチケット(セブンコード:110-794)、ローソンチケット(Lコード:35833)、
インフォメーションセンターえん、NIC新潟日報販売店、新潟県立万代島美術館 ミュージアムショップ、
新潟市美術館(※2025年8月30日より取扱開始)
- ◆当日券／一般:1,200円(1,000円)、大学・高校生:900円(700円)、中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金・リピーター割引料金(本展観覧券の半券提示で本展2回目は団体料金に割引)・
あっちも割引料金(新潟市新津美術館観覧券提示で団体料金に割引、1回1名・1年間有効)
※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料(受付でご提示下さい)
※会期中は、本展の観覧券で「コレクション展」もご観覧いただけます



新潟市美術館

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL:025-223-1622 FAX:025-228-3051 E-Mail:museum@city.niigata.lg.jp



@ncam.tsunagaru



@ncam_official

オノリオ・マリナーリ(1627-1715)《聖チェチリア》制作年不詳

開館40周年記念 長坂コレクション

はじめましての西洋絵画

長野市在住の所蔵家・長坂 剛氏は、長年にわたり「伝統的な絵画手法によって描かれた正統派のヨーロッパ絵画」を蒐集してきました。本展では、そのコレクションより、17世紀のバロック美術と19世紀の近代絵画を中心に58点の油彩画を紹介し、そこにはその時代の雰囲気や好みをよく伝える作品が数多く含まれています。絵画が制作された国もさまざま、バロック美術の栄えたスペイン、イタリア、フランス、そして、フランドル（現在のベルギーやオランダ）、近代絵画においては、イギリス、ロシアなどが加わり、まるでヨーロッパ中を旅するような感覚でご覧いただけます。初めて西洋絵画に触れる方でも、肩肘張らずに気軽に楽しめる展覧会です。



1



2



3



4

1. チャールズ・ゴールズボロ・アンダーソン (1865-1936)
《クラーク・トラヴァース夫人》 1900年頃
2. マリアーノ・サルバドール・マエリヤ (1739-1819)
《聖家族と幼い洗礼者聖ヨハネ》 制作年不詳
3. ヘンドリック・ド・クレルク (1570-1630) 《羊飼いの礼拝》
制作年不詳
4. ロベルト・ナドラー (1858-1939) 《ヴェネツィア》 19世紀末

●美術様式

ルネサンス マニエリスム バロック 新古典主義 ロマン主義 写実主義 印象派 近代

1500年 1550年 1600年 1650年 1700年 1750年 1800年 1850年 1900年

2. マリアーノ・サルバドール・マエリヤ
《聖家族と幼い洗礼者聖ヨハネ》

1. チャールズ・ゴールズボロ・アンダーソン
《クラーク・トラヴァース夫人》

4. ロベルト・ナドラー《ヴェネツィア》

関連事業

講演会 本展監修者・千足伸行氏による開幕記念講演会

◆日時：11月1日（土） 午後2時～午後3時30分（午後1時30分開場） ◆会場：講堂
申し込み不要、聴講無料、定員80名（先着順）

担当学芸員によるギャラリートーク

◆日時：11月16日（日）、12月14日（日） 各日午後2時～（30分程度） 申込み不要、要当日観覧券

手話通訳付きギャラリートーク

◆日時：12月7日（日） 午後2時～（30分程度） 申込み不要、要当日観覧券
※学芸員が手話通訳者とともに、展覧会の見どころをわかりやすく解説します。どなたでもご自由にご参加ください。

ワークショップ「オリジナルミニ額縁をつくろう」

◆講師：当館学芸員 ◆日時：11月22日（土） 午後1時30分～午後4時 ◆会場：実習室
◆対象：小学生以上（小学1～3年生は、要保護者参加） ◆定員：20名 ◆参加費：おひとり500円

○申し込み方法

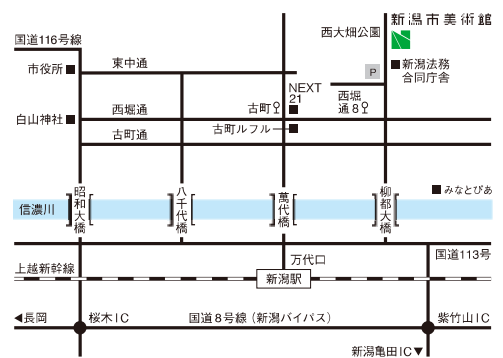
当館の代表メールアドレス (museum@city.niigata.lg.jp)、あるいは、往復はがき (951-8556新潟市美術館宛) で、次の5つの項目を記入のうえ申し込み。①参加者全員の氏名（1通につき4名まで）、②年齢が学年、③代表者の住所、④電話番号、⑤「ミニ額縁ワークショップ参加希望」
締め切り 11月4日（火）午後5時必着（応募多数の場合は抽選）

同時開催

- コレクション展 1 10月15日（水）～2026年2月23日（月・祝）
- Lounge N きままプログラム みんなでつくる☆クリスマス

小さなお子さんがある、障がいがあるなど、何らかの理由で来館を迷っている方へ

車椅子やベビーカーの無料貸し出し、授乳室のご案内をしています。そのほかにも、来館の際に心配ごとがあればお問い合わせください。可能な範囲で対応します。



【交通のご案内】

○バスで（新潟駅バスターミナルから）

- ・【C6八千代橋線】乗車約16分→「西堀通八番町」バス下車→徒歩5分
（便数は多くありませんが美術館最寄りのバス停からのアクセスとなります）
- ・【B1萬代橋ラインなど】乗車約10分→「古町」バス下車→徒歩12分
（最も便数が多いバス停からのアクセスとなります）

○タクシーで 新潟駅万代口から約10分

○自動車で（無料駐車場46台）

A: 【高速道路】日本海東北自動車道、新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分

B: 【国道8号線（新潟バイパス）】紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分

※当館駐車場は混雑する場合があります。

新潟市美術館
Niigata City Art Museum

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
TEL: 025-223-1622 FAX: 025-228-3051

ウェブサイトは
こちら↓



2025.5.30 ver



1. オノリオ・マリナーリ 《聖チェチリア》制作年不詳

2025年11月1日（土）～2026年1月12日（月・祝）

長野市在住の所蔵家・長坂 剛（ながさか・たけし）氏は、長年にわたり「伝統的な絵画手法によって描かれた正統派のヨーロッパ絵画」を蒐集してきました。本展では、そのコレクションより、17世紀のバロック美術と19世紀の近代絵画を中心に58点の油彩画を紹介します。そこには、その時代の雰囲気や好みをよく伝える作品が数多く含まれています。絵画の制作地もさまざま、バロック美術の栄えたスペイン、イタリア、フランス、そして、フランドル（現在のベルギーやオランダ）、近代絵画に至ると、イギリス、ロシアなどが加わり、まるでヨーロッパ中を旅するような感覚でご覧いただけます。

初めて西洋絵画をご覧になる方でも、肩肘張らずに気軽に楽しめる展覧会です。

見どころ

1. まるでヨーロッパ旅行！旅する気分でお楽しみください

本展では58点の油彩画を展示しますがその制作地はさまざまです。バロック美術の栄えたスペイン、イタリア、フランス、そして、フランドル（現在のベルギーやオランダ）、近代絵画に至るとイギリス、ロシアなどが加わり、より多彩な作品を楽しんでいただけます。展覧会を通して、ヨーロッパ旅行の気分を味わえる展覧会です。

2. 当時の市民が親しみ愛した絵画たち

長坂コレクションの画家たちは、聞きなれない名前が多いかもしれません。美術の教科書でよく目にするような著名な画家たちは含まれていませんが、そうした巨匠たちの作品を手元に置いて楽しめたのは特権階級の人たちのみ。当時の市民が直接目にする機会は少なかったでしょう。一般の人々に信仰の尊さを教え、風景を描いて自然の美しさに目を開かせ、風俗画によって生きる楽しみ、喜びを実感させたのは、実のところ巨匠の周辺の画家たちだったともいえるのです。展覧会では、市民が親しんだ、その時代の雰囲気や好みを直接感じ取ることができるでしょう。

章構成

宗教画

長坂コレクションの主軸となるセクションです。バロック美術が栄えた時代、1600年代に描かれた絵画を中心に構成されています。「バロック」とはオランダ語で「歪んだ真珠」を意味し、意図的にバランスを崩したダイナミックな構図、光と闇の強い対比など、劇的な空間が特徴です。カトリック教国であるフランドル（現在のベルギーやオランダ）、スペイン、イタリアの3つの国で多く描かれました。



2. ヘンドリック・ド・クレルク
《羊飼いの礼拝》制作年不詳



3. マリアーノ・サルバドル・マエーリャ
《聖家族と幼い洗礼者聖ヨハネ》制作年不詳



世俗画

世俗画とは、宗教とかかわりをもたない主題であり、俗世間を扱う作品のことを指します。1600年代にスペインから独立したオランダでは、商業活動を背景とする経済的繁栄によって絵画の黄金時代を迎えます。偶像崇拝を禁ずるプロテスタントが多いオランダにおいて、教会、礼拝堂を飾るためのみならず、市民の家庭や市庁舎などを飾る作品が多く描かれました。



4. ヤン・コシエルス
《空のジョッキを持つ酒飲み》制作年不詳



5. ルーメン・ボルテンヘン《占い師》制作年不詳

肖像画

19世紀から20世紀にかけて描かれた肖像画は、王侯貴族、高位の聖職者、富裕な市民など、一部のブルジョワたちの注文によって描かれました。いわゆる似顔絵ではなく、自分や家族を記念し、自らの社会的地位、富、家柄、教養などを描いてもらう一種のステータス・シンボルでもあったのです。本章で紹介するのは、中流階級以上の女性たちの肖像画です。19世紀後半には、印象派などの新たな絵画表現が生まれていましたが、当時のブルジョワ社会で認知され、人気を博したのはこうした肖像の数々でした。



6. チャールズ・ゴールズボロ・アンダーソン
《クラーク・トラヴァーズ夫人》1900年頃



7. ジョルジュ・ルフェーブ
《青いストッキングをはいた女流詩人》1870年頃

風景画

風景画が独立したジャンルとして確立されたのは 1600 年代のオランダであるといわれています。オランダの画家たちは見慣れた身近な風景を写實的に描きました。風景画とひと口にいても、その時代や描かれる場所によって画題は変化します。聖書や古代文学作品の中で描写された風景に基づくもの、古代ギリシャ、ローマの文化や自然に対する憧れから生まれたものなど様々です。本章では、身近な風景を描いたオランダ風のものから“古典的風景”の伝統に連なるもの、18 世紀イタリアのヴェドゥータ（景観図）などをご覧ください。



8. ロベルト・ナドラー 《ヴェネツィア》19 世紀末



9. ジェイムズ・スターク 《森の中の風景》
1820-30 年頃

風俗画

ある社会、時代の生活、習わし、職業、行事などの風俗を描いたもので、最も世俗的なジャンルといえるかもしれません。長坂コレクションには、行楽やスポーツ、狩猟、あるいは都会や農村の親しみやすい風俗を描いたものが含まれています。描かれる対象は、華やかな上流社会から貧しい子どもたちにまでおよび、当時の人々がいかに生きたのかがパノラマのように展開され、見る者を飽きさせません。



10. ニコライ・アンドレヴィッチ・コシェーレフ
《脱穀場の子供たち》1882 年



11. ヘンリー・アンドリュース 《鷹狩》1830 年頃

関連イベント

1 本展監修者・千足伸行氏による開幕記念講演会

日時：2025年11月1日（土）午後2時～午後3時30分

講師：千足伸行（せんぞく・のぶゆき）氏（成城大学名誉教授、広島県立美術館長）

会場：講堂／申し込み不要、聴講無料、定員80名（先着順）

2 担当学芸員によるギャラリートーク

日時：2025年11月16日（日）、12月14日（日）各日午後2時～（30分程度） 申込み不要、要当日観覧券

3 手話通訳付きギャラリートーク

日時：2025年12月7日（日）午後2時～（30分程度） 申込み不要、要当日観覧券

*学芸員が手話通訳者とともに、展覧会の見どころをわかりやすく解説します。どなたでもご自由にご参加ください。

4 ワークショップ「オリジナルミニ額縁をつくろう」

講師：当館学芸員 日時：11月22日（土） 午後1時30分～午後4時 会場：実習室

対象：小学生以上（小学1～3年生は、要保護者参加） 定員：20名 参加費：おひとり500円

申し込み方法：当館の代表アドレス（museum@city.niigata.lg.jp）、あるいは、往復はがき（951-8556 新潟市美術館宛）で、次の5つの項目を記入のうえ申し込み。①参加者全員の氏名（1通につき4名まで）、②年齢か学年、③代表者の氏名、④電話番号、⑤「ミニ額縁ワークショップ参加希望」

締め切り：11月4日（火）午後5時必着（応募多数の場合は抽選）

開催概要

展覧会名 開館40周年記念 長坂コレクション はじめましての西洋絵画

会場 新潟市美術館 企画展示室

会期 2025年11月1日（土）～2026年1月12日（月・祝） 59日間

開場式・内覧会 2025年10月31日（金） 午後3時～午後4時30分

開館時間 午前9時30分～午後5時（観覧券の販売は閉館30分前まで）

休館日 月曜日（ただし11月3日、24日、2026年1月12日は開館）、12月28日～2026年1月3日

観覧料 前売券：1,000円（一般のみ）販売期間：2025年5月24日～10月31日

〔販売場所〕セブンチケット（セブンコード：110-794）、ローソンチケット（Lコード：35833）、インフォメーションセンターえん、NIC新潟日報販売店、新潟県立万代島美術館 ミュージアムショップ、新潟市美術館（※2025年8月30日より取扱開始）

当日券：一般1,200円（1,000円）、大・高校生900円（700円）、中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金・リピーター割引料金・あっちも割引料金（新潟市新津美術館企画展観覧券提示で団体料金を割引。1枚につき1回限り1年間有効）

主催 新潟市美術館、新潟日報社

協力 長坂バロック株式会社

お問合せ先

新潟市美術館〔担当：児矢野あゆみ、塚野卓郎〕

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL:025-223-1622 FAX:025-228-3051 E-mail:museum@city.niigata.lg.jp

開館 40 周年記念

長坂コレクション はじめての西洋絵画

【取材・チケットプレゼント・記事掲載について】

次の 1～3 のいずれかをご希望の場合、以下の URL または二次元コードから WEB フォームでお申込ください。

- 1) 取材の申し込み（開場式・内覧会あるいは会期中）
- 2) 展示作品の図版掲載（プレスリリース掲載画像からお選びください）
- 3) 読者プレゼント用の招待券

【申し込みフォーム】

https://docs.google.com/forms/d/1W7Q7jU94TM4yvPaPH_QwUcVIX--0V0oSEjG_ZgB97ws/edit

【二次元コード】



- ◆使用画像と基本情報の確認のため、掲載前の原稿や映像は、担当者まで必ずお送りください。
- ◆チケットプレゼントの提供は、本展をご紹介いただける場合のみとし、1 媒体につき 10 組 20 名様を上限として提供します。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載媒体は、必ず当館まで 1 部ご送付ください。
- ◆WEB 掲載の場合は、コピーガードの処理をかけてください。